

製品名: FANCG (リン酸化 Ser383) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04666**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	69kDa

抗原情報

遺伝子名	FANCG
別名	FANCG; XRCC9; Fanconi anemia group G protein; Protein FACG; DNA repair protein XRCC9
遺伝子 ID	2189.0
SwissProt ID	O15287
免疫原	ヒト FANCG のリン酸化部位（リン酸化 Ser383）周辺の合成リン酸化ペプチド

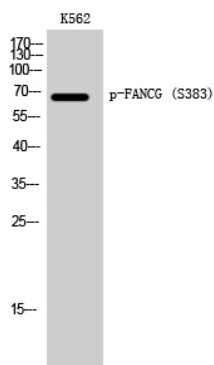
背景

ファンコニ貧血相補群（FANC）には現在、FANCA、FANCB、FANCC、FANCD1（別名 BRCA2）、FANCD2、FANCE、FANCF、FANCG、FANCI、FANCI（別名 BRIP1）、FANCL、FANCM、FANCN（別名 PALB2）が

含まれます。以前定義されたグループ FANCH は FANCA と同一です。ファンconi貧血は、細胞遺伝学的不安定性、DNA 架橋剤に対する過敏症、染色体切断の増加、および DNA 修復障害を特徴とする、遺伝的に異質な劣性疾患です。ファンconi貧血相補群のメンバーは配列の類似性を共有していませんが、共通の核タンパク質複合体を形成することで関連しています。この遺伝子は相補群 G のタンパク質をコードしています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],疾患: FANCG の欠陥はファンconi貧血 (FA) の原因です [MIM:227650]。FA は遺伝的に異質な常染色体劣性疾患で、進行性汎血球減少症、多様な先天性奇形、悪性腫瘍発症の素因が特徴です。細胞レベルでは、DNA 損傷因子に対する過敏症、染色体不安定性 (染色体切断の増加)、および DNA 修復障害と関連しています。機能: 複製後修復または細胞周期チェックポイント機能に関与する可能性のある DNA 修復タンパク質。鎖間 DNA 架橋修復および正常な染色体安定性の維持に関与している可能性があります。腫瘍抑制遺伝子候補。類似性: 4 つの TPR リピートを含む。細胞内局在: 主要型は核内、副次型は細胞質内。サブユニット: FANCA、FANCB、FANCC、FANCE、FANCF、FANCG、FANCL/PHF9、FANCM からなる多サブユニット FA 複合体に属する。この複合体は FA 患者には認められない。組織特異性: 精巣と胸腺で高発現する。リンパ芽球にも認められる。

研究分野

画像データ



リン酸化 FANCG (S383) ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析